



## 誰かのことじゃない わたしのこと ～人権の始まりは、私から～

山鹿中通信 文責 工

12月10日は、世界人権宣言が採択された日です。人権デー（採択日）を最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動が展開されました。本校では、人権に関する正しい理解を深め、相手を尊重する態度の涵養を目指し、第2回人権集会を実施しました。集会では、代表生徒4名が人権作文や標語に込めた思いについて発表しました。

普通って？ 僕とあなたそれぞれの普通

人は、それぞれ育ってきた環境や考え方で違ってくる。「普通」っていう言葉でその人のことを否定しないでほしい。

立ち上がる人になるの？ ただ見ている人になるの？

差別やいじめが目の前で起きたときは、立ち上がることができる人でありたい。そんな人が増えてほしい。

行動で 花も笑顔も 咲き誇る

自分の小さな行動で笑顔をどう作るか。花と笑顔を重ね合わせた。水をやることで花が咲くように、小さな行動で笑顔をいっぱいにしたい。

部落差別をなくすために

【一部抜粋して掲載しています】

僕は、授業で「部落差別」について学びました。授業で先生の話聞いてからは、「知らないこと」が、いかに大きな差別につながるのかを強く感じました。

「ただちがうだけ」で誰かを下に見たり、差別したりすることの残酷さが、少しだけ分かる気がします。僕たちにできることは小さなことかもしれません。でも、差別を「見て見ぬふりしないこと」や、「それは違うよ」と言える勇気を持つことは、きっと大切な一歩になると思います。そして何より、「自分には関係ない」と思わずに、知ろうとすることが大切だと思います。

部落差別の問題は過去のことではなく、今も続いている「今の課題」なのだと気づきました。そして、この問題に向き合うには、まず、「知ること」、そして「考えること」、最後に「行動すること」が必要だと学びました。自分とは違う文化や価値観を持つ人と出会う機会が多いです。「違うから怖い」ではなく、「違うからこそ知りたい」と思えるようにしています。外国人差別や障害者差別、性別による差別など、あらゆる差別をなくすための第一歩になると思います。未来の社会が、今よりもっと温かく、差別のない場所になっているように、僕もその一員として努力していきたいです。

自分も行動で示せる人でありたい。

差別をなくそうという思いが伝わってきた。小さなことでも積み重ねていきたい。

人権問題は向き合い方が難しいが、しっかりと考えていきたい。

今の生活が当たり前ではない。一日一日を大切に過ごしていきたい。

発表した生徒は、学習したことや経験したことを自分のこととして捉え、私たちにとって大切な学びを届けてくれました。

「自分の大切さと同様、他の人の大切さを認める」そんな自分の人権感覚を振り返ることが大切なことだと伝えてくれました。